



後藤 ゆう子

市議会議員・ごとう ゆうこ
<http://goto.seikatsusha.me/>

私の決意

超高齢社会と少子化の進行、増える自然災害、いろいろな不安を抱えながらの日々の生活…。そんな中で明るい未来を描きにくいという声が聞かれます。また、政治に期待しない、そもそも関心がないという声も聞こえます。

本当にそれでいいのでしょうか？

実感はなくても、私たちの生活は政治につながっています。

生活者ネットワークは、さまざまな生活課題を解決するために、大勢の市民の声をもとに政策をつくっています。

私は、ごみ、子育て、介護、子どもの居場所、環境など、実体験にもとづき、生活者の視点で、市政に取り組んできたと自負しています。

1期4年で取り組んだ政策をすすめるため、2期目に挑戦し、引き続き力を尽くします。

後藤 ゆう子

西東京・生活者ネットワーク 後藤ゆう子の活動を紹介します

ひとりにしない！ 子育て・介護



後藤ゆう子のプロフィール

- 1967年 大阪府吹田市生まれ。千葉、滋賀など転住。膳所高校、同志社大学法学部卒業。情報通信企業勤務
 - 90～93年ライフル射撃で連続国体に出場
 - 98年に生活クラブ生協に加入し各種委員を歴任。食の安全、環境問題に取り組む。芝久保小、田無第一中でPTA活動。2007～14年生活クラブ生協デポー(店舗)西東京・フロアワーカーズ「まどか」代表
 - 2014年西東京市議会議員選挙初当選、建設環境委員、柳泉園組合議員など、会派代表
- 現在、環境NPOエコメッセ理事、まちづくりNPO理事
- 家族：夫、娘(大学生)、息子(高校生)
趣味：大橋トリオさんの曲を聴く、ギター
芝久保町2丁目在住

生活者ネットワークってなに？

生活者ネットワークは、都内34自治体にあり、1人の都議会議員と47人の市・区議会議員をもつ地域政党です。生活者ネットワークは、「政治は暮らしを豊かにする道具」ととらえ、市民の生活の中にある問題や地域の課題を政策化し、そこに関わる人とともに解決します。生活者ネットワークの議員は問題解決のコーディネーターとして政治と生活をつないでいます。

生活者ネットワークの3つのルール

- 1 議員はローテーション
生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験をいかします。
- 2 議員報酬は市民の活動資金に
議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。
- 3 選挙はすべて手づくり
選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

12月23日は西東京市議会議員選挙の投票日です(期日前投票は17～22日)